

数値目標の設定について

神奈川県としての長期的な目標を設定

→長期的数値目標の設定方法

本格的に肝炎対策が開始した平成20年度より30年のスパンで効果を検証

【全体目標】 ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす。



長期的な目標を達成させるための
指標となる個別目標の設定

現計画の個別目標

1. 肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）を向上します。
→県民ニーズ調査における肝炎に対する認知度の向上

<単年度目標の評価方法例>

- ・ 認知度を上げるため、これまでアプローチしていないエリアを開拓できたか

2. 肝炎ウイルス検査受検率を向上します。
→県民ニーズ調査における肝炎ウイルス検査受検率の向上

<単年度目標の評価方法例>

- ・ 受検率を上げるため、これまでアプローチしていないエリアを開拓できたか
- ・ 非認識受検者の取り扱い

3. 県内全市町村において、肝炎ウイルス陽性者を適切に医療につなげるための体制を構築します。
→陽性者フォローアップ事業 県内全市町村実施率 100%

<単年度目標の評価方法例>

- ・ 効率的効果的なフォローアップの手法を検討し、自治体に対し提案できたか

4. 「肝疾患コーディネーター」を養成し、かかりつけ医療機関、薬局、職域、行政などに配置します。
→令和4年度までに500人養成・配置

<単年度目標の評価方法例>

- ・ これまでの単年度実績平均値を少しでも上回っているか

5. 相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合をゼロにします。
→「肝炎患者に対する意識調査」における割合減少

<単年度目標の評価方法例>

- ・ 受給者証新規申請者または肝炎ウイルス検査結果陽性者を対象としているか